

2024年度

# 一般編入学・転入学試験問題

北海学園大学

---

経済学部 1部 経済学科・地域経済学科

経済学部 2部 経済学科・地域経済学科

# 出題意図

## 英語

本学経済学部3年次に相応しい英語に関する学力や知識を有しているかを評価する

## 経済学

本学経済学部3年次に相応しい経済学に関する学力や知識を有しているかを評価する

# 2024年度 経済学部 一般編入学・転入学試験問題

英語

(参照許可物: 英和辞典1冊または電子辞書(通信機能の無いものに限る)1台に限り持込・使用可能)

2023年 11月 4日 (土) 実施

【設問】 次の英文 (1) (2) を和訳しなさい。

- (1) Until about 500 years ago, most people believed that supernatural forces controlled nature. If something unusual happened, they believed the cause was controlled by God or some kind of magical force. Then in the 16th century, early scientists began to question this belief, and claimed that reality could be explained by observing, experimenting, and reasoning. An important example of this new way of understanding appeared when two objects of different weights were simultaneously dropped from the Leaning Tower of Pisa in Italy. When they landed at the same time, it disproved Aristotle's idea that the speed of a falling object depended on its weight.
  
- (2) Money is surely one of the most important inventions of human beings because it can connect people who want to buy things and those who want to sell them. Moreover, people do not have to stock commodities if they have money, and can accumulate wealth in the form of money. Gold, silver, and copper have been used as money all over the world, since these metals are valuable and rare. Paper money appeared quite recently in human history, and it does not have any material value. Only financially sound nations can successfully issue paper money of value with a central political power.

## 解答例

- (1) 約 500 年前まで、ほとんどの人々は超自然的な力が自然を支配すると信じていた。何か異常なことが起こったら、その原因は神かある種の魔力によって統御されているのだと人々は考えた。それから 16 世紀になって、初期の科学者たちはこの考えに疑問を抱き始め、現実を観察、実験、推論によって説明されると主張した。このような新しい理解方法についての重要な例は、2つの重さの異なる物体が、イタリアのピサの斜塔から同時に落下したときに生まれた。2つの物体が同時に地面に到達したとき、落下物の速度は重さに比例するというアリストテレスの考えは誤っていることが証明された。
  
- (2) 貨幣は間違いなく人間のもっとも重要な発明の1つである。なぜなら、それは物を買いたい人と売りたい人を結びつけることができるからである。加えて、もし貨幣を持っていれば、商品を保管しておく必要がなく、貨幣の形で富を蓄えることができる。金、銀、銅は世界中で貨幣として使用されてきたが、その理由はこのような金属が希少で貴重であったからである。紙幣が人類の歴史に登場したのはごく最近のことであり、それ自体に物質的な価値はない。ただ財政的に安定した国だけが、中央集権的な政治力をもって、価値のある紙幣を発行することができるのである。

# 2024年度 経済学部 一般編入学・転入学試験問題

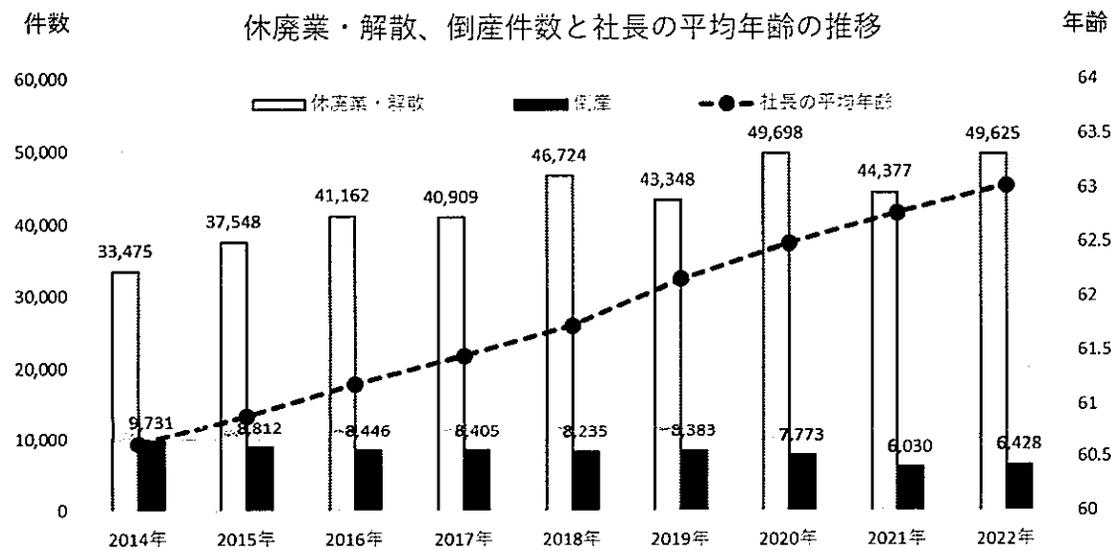
受験番号		氏名	
------	--	----	--

採点	
----	--

経済学

2023年 11月 4日 (土) 実施

問 以下のグラフは、日本企業における休廃業・解散件数、倒産件数と社長の平均年齢の推移を示している。これは、「大廃業時代」の到来ともいわれる日本経済の動向であると考えられるが、これらに関して、以下の問いに答えてください。



出所：東京商エリサーチ「2022年『休廃業・解散企業』動向調査」、「全国社長の年齢」調査より作成。

- 1) 休廃業と倒産の違いを説明してください。
- 2) このグラフから読み取れることを指摘してください。
- 3) なぜ、このような推移になっているのか、考えられる要因を述べてください。
- 4) グラフで示すように倒産や休廃業が増加してくると、地域経済でどのような問題が生じると考えられるか。またそれらの問題へどのような対応が行われているか、述べてください。

1) 休廃業と倒産の違いを説明してください。

休廃業：特段の手続きをとらず資産が負債を上回る資産超過状態で事業を停止すること  
一般的に会社や個人事業主が自ら事業をやめること

倒産：個人や法人などの経済主体が経済的に破綻して弁済期にある債務を一般的に弁済できなくなり、経済活動をそのまま続けることが不可能になること

2) このグラフから読み取れることを指摘してください。

- ・倒産よりも休廃業・解散の方がはるかに多い
- ・社長の平均年齢の上昇とともに休廃業数も増加している
- ・倒産件数は2020年以降減少傾向にある

3) なぜ、このような推移になっているのか、考えられる要因を述べてください。

- ・中小企業を中心に、事業承継が進んでいない（後継者不在）
- ・2020年以降のコロナ禍での「コロナ緊急融資」が企業存続を可能にさせた

4) グラフで示すように倒産や休廃業が増加してくると、地域経済でどのような問題が生じると考えられるか。またそれらの問題へどのような対応が行われているか、述べてください。

- ・事業承継ができないために、廃業に加えM&A（企業譲渡・買収）が増えている。  
地域内の企業間のM&Aもあるが、それ以外のM&Aが増えている。  
→東京集中がさらに強まる、小規模企業がなくなる、地方の疲弊につながる など
- ・緊急融資の返済が始まったことで倒産件数が大きく増加している  
地域金融機関による借り換えサポート；きめ細かい支援の必要性  
など、ロジカルに展開できていれば加点。

# 2024年度 経済学部 一般編入学・転入学試験問題

受験番号		氏名	
------	--	----	--

採点	
----	--

## 経済学

2023年11月4日(土)実施

問題 次の文章を読み、空欄①～⑭に最も適切な語句をそれぞれ空欄に続く隅付き括弧【】内の選択肢ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

スミスやリカードの(①)【ア. 重金主義 イ. 重商主義 ウ. 重農主義 エ. 古典派】経済学をマルクスは批判的に継承し、人間と自然との物質代謝を合目的に制御する活動にもとづいて社会を捉えた。物質的財貨の生産において、自然を制御する力が(②)【ア. 経済的構造 イ. 上部構造 ウ. 生産力 エ. 伝導機構】であり、人と人との関係が生産関係である。生産様式は(②)と生産関係の統一である。

資本主義的生産様式においては富の基本的形態は商品である。商品は、まず、相互に区別される物理的・化学的等の自然的諸属性によって特定の欲求を充足する外的対象であり、この有用性において(③)【ア. 直接的交換可能性 イ. 使用価値 ウ. 価値体 エ. 観念的購買手段】である。諸商品は(③)としては相互に異なる質であるが、価値としては量においてのみ区別される同一な質である。(③)を捨象すれば商品には労働の生産物という属性だけが残る。布や糸といった有用性を捨象するならば、その労働も、織ったり紡いだりといった有用性が消え、相互に無差別な、人間労働力の支出そのものに、すなわち(④)【ア. 具体的有用的労働 イ. 抽象的人間的労働 ウ. 私的諸労働 エ. 精神的労働】に還元される。価値とは商品のうちに対象化した(④)にほかならない。価値の大きさを規定する(④)の量は、社会的平均的な生産条件・労働の強度・(⑤)【ア. 土地条件 イ. 不要物の廃棄 ウ. 流通時間 エ. 労働の熟練度】のもとで生産に要する(⑥)【ア. 社会的必要労働時間 イ. 剰余労働時間 ウ. 必須労働時間 エ. 商業資本の回転】によって規定される。

1 商品は自己の価値を他の商品に関わることで示さねばならない。商品は自己の価値を他の商品の(③)・現物形態によって表現する。この表現形態は(x量の商品A=y量の商品B)という個別的な形態からはじまる。この価値関係のなかで商品Aは自己の価値を表現する(⑦)【ア. 価値体 イ. 特殊価値形態 ウ. 相対的価値形態 エ. 価値鏡】の位置にあり、商品BはAの価値を示す等価形態、等価物として妥当している。この表現形態の発展は、諸商品(商品世界)がある1つの商品を共通の等価物として排除し、これによって価値を表現する形態にまで進む。この一般的な等価物の地位は最終的に金銀が独占する。ここに貨幣が発生する。

貨幣は第一に、(x量の商品A=y量の金)のように、諸商品の価値を表象された観念的な金重量で示す(⑧)【ア. 架空資本 イ. 金地金 ウ. 価格の度量標準 エ. 価値尺度】として機能する。第二に、貨幣は商品の姿態転換を媒介する(⑨)【ア. 流通手段 イ. 価格の度量単位 ウ. 生産価格 エ. 計算貨幣】として機能する。商品の姿態転換の絡みあいの総体が流通である。(⑨)としての機能は、金実体から分離するため、金貨ではなく、価値の代理物・象徴によって担われるようになる。第三に、貨幣は流通からの引き上げによって流通外に形成される蓄積貨幣として、価値が物の形で諸商品から独立し諸商品に対峙する本来の貨幣である。

流通には(③)が過程の目的となる単純な商品流通とは反対に、価値の増殖を目的として運動する貨幣がある。これが資本である。商品と貨幣の等価交換を前提とすれば、価値の増殖は、労働力を商品として入手することによって可能となる。貨幣所持者は市場において、その(③)の実現が労働である商品を見いだすのである。労働力は、賃金労働者の生きた人格性のなかにあり、生産のなかで発揮される精神的肉体的諸能力の総体である。労働力の買手は(⑩)【ア. 金利生活者 イ. ギルド ウ. 取締役 エ. 資本家】であり、売手は賃金労働者である。資本主義社会は労働する諸個人が二重の意味において自由であること、すなわち、法的形式的に自由であること、および、自己の(⑪)【ア. 生産手段 イ. 労働対象 ウ. 労働手段 エ. 前貸資本】から自由であること(切り離されていること)を前提としている。労働力の価値の大きさは、労働者とその個人的消費において消費する(⑫)【ア. 奢侈品 イ. 剰余生産物 ウ. 必須生活手段 エ. 原前払】を生産するのに要する(⑥)によって規定される。資本主義社会の歴史的前提をつくりだした過程を資本の本源的蓄積という。この過程は、イギリスでは(⑬)【ア. ヨーマンリ イ. ジェントリ ウ. ソキエタス エ. コロス】(独立自営農民)のような直接的生産者から(⑩)を分離し、彼らを賃金労働者に転化する運動を中心として進んだ。

価値増殖における役割から資本は本質的に2つの部分に区別される。労働力を買うのに用いられる資本部分を(⑭)【ア. 原資本 イ. 可変資本 ウ. 流動資本 エ. 労賃】とよび(vと表す)、(⑪)に投下される部分を(⑮)【ア. 固定資本 イ. 産業資本 ウ. 不変資本 エ. 過剰資本】とよび(cと表す)。労働力の消費すなわち労働は、(⑪)を合目的に消費し新たな(③)に転換することによってc価値を生産物に移転・保存する。同時に、(④)としては、新たな価値を生産物に付加し、vを補填するだけではなく、剰余価値mを加える。剰余価値率(⑯)【ア. (v+m)/c イ. m/(c+v) ウ. m/v エ. m/(c+v+m)】は、資本の真の増殖率を示す。

労働力の再生産に要する(⑥)の短縮は労働日が同じであれば剰余価値を増大する。これは(⑰)【ア. 絶対的剰余価値の生産 イ. 相対的剰余価値の生産 ウ. 超過利潤の第2形態 エ. 企業利得】とよばれる。資本は労働日延長のならず、労働過程の変革によって剰余価値を増大する。この変革は労働力の組織化から始まる。同一の生産過程あるいは関連のある複数の生産過程において多数の労働者が計画的に協働する協業が資本主義の独自の生産様式の基礎となる。協業にもとづく作業場内の分業がマニファクチュアである。資本による労働過程の変革は、道具の道具機への転化を起点とする大工業の成立によって完成した。産業革命は、(⑱)【ア. クロンプトン イ. ニューコメン ウ. モーズリー エ. ハーグリーヴス】のジェニー紡績機のような綿工業での発明からはじまり、石炭採掘や造船などの巨大な現代的産業を確立した。製鉄業では(⑲)【ア. フルトン イ. ベッセマー ウ. ワット エ. ケイ】の転炉が重要な発明として知られる。

剰余価値の資本への再転化を(⑳)【ア. 資本の蓄積 イ. 資本主義的取得の法則 ウ. 資本還元 エ. 資本の集中】という。資本の技術的構成を反映するかぎりでの資本の価値構成(㉑)【ア. v/m イ. (c+v)/m ウ. m/c エ. cv】を資本の有機的構成とよぶ。(㉑)は資本の有機的構成の高度化にもとづき、労働力の貯水池を相対的過剰人口として創出し、自らの存立条件を確保する。相対的過剰人口は資本の平均的な増殖欲求に対する過剰人口である。相対的過剰人口にはいくつかの存在形態がある。このうち、近代産業の中心で資本から遊離したり吸収されたりする部分を(㉒)【ア. 被救済民状態 イ. 流動的過剰人口 ウ. 潜在的過剰人口 エ. ルンペン・プロタリアート】という。

個別諸資本は社会的総資本を形成する。資本の姿態転換の反復では終着点が起点となる3つの循環があり、社会的総資本の再生産はこのうちの(㉓)【ア. 貨幣資本 イ. 回転 ウ. 商品資本 エ. 生産資本】循環を基準として考察される。社会的総(㉓)からはじまり社会的総(㉓)に復帰する循環を基準とし、表式を用いて把握できる。価値どおりの売買を想定し、貨幣の流通も度外視し、資本の回転期間を1年とし、単純再生産を捉えよう。総(㉓)は(③)からみれば、(⑪)を生産する第I部門の生産物と、(㉔)【ア. 支払手段 イ. 原料 ウ. 固定資本 エ. 消費手段】を生産する第II部門の生産物とに分けられる。価値成分からみれば、c、v、mに分割される。前年度に生産された社会的総生産物の諸要素は、I (c+v+m)とII (c+v+m)として表せる。(③)・現物形態として第I部門の生産物は両部門の(㉕)の素材であり、第II部門の生産物は両部門における労働力の売手と買手が消費する。資本と収入の補填は、2つの部門内補填と、1つの部門間補填という3つの流れを介して実現する。単純再生産の条件としての部門間補填の関連は(㉖)【ア. I c イ. I (c+v) ウ. I v エ. I (v+m)】= II cと表現される。

①エ	②ウ	③イ	④イ	⑤エ	⑥ア	⑦ウ	⑧エ	⑨ア	⑩エ
⑪ア	⑫ウ	⑬ア	⑭イ	⑮ウ	⑯ウ	⑰イ	⑱エ	⑲イ	⑳ア
㉑エ	㉒イ	㉓ウ	㉔エ	㉕エ					

# 2024年度 経済学部 一般編入学・転入学試験問題

受験番号		氏名	
------	--	----	--

採点	
----	--

経済学

2023年 11月 4日 (土) 実施

問題 1

1. ある大学の入学試験の検定料（価格）が3万円から3万3千円に値上げされ、その年の志願者数（需要）が15000人から14000人に減少したとする。このときの需要の価格弾力性を求めよ。数値を割り切れない場合は分数で答えるか、または小数第2位を四捨五入して小数第1位まで答えること。
2. 大学生の北海さんの先々月までのアルバイト収入（所得）は毎月10万円だったが、先月は12万円だった。また、北海さんの毎月のスマートフォンのデータ利用料（需要）は5GBだったが、先月は8GBに増加していた。北海さんの先月の需要の所得弾力性を求めよ。数値を割り切れない場合は分数で答えるか、または小数第2位を四捨五入して小数第1位まで答えること。

1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_

問題 2

ある財は2000人の消費者と200社の生産者からなる完全競争市場で取引されている。価格を $p$ 、消費者の半数の需要を $x_1$ 、残り半数の需要を $x_2$ とすると、それぞれの需要は以下の需要関数で表される。

$$x_1(p) = -0.04p + 10, x_2(p) = -0.02p + 5$$

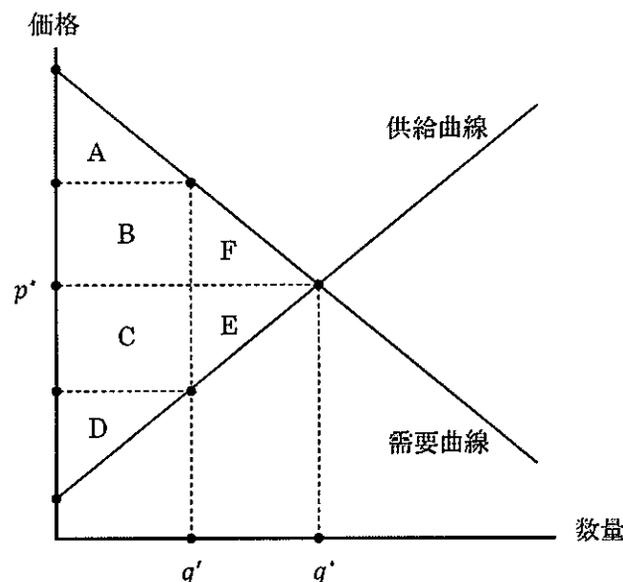
生産者の半数の供給を $y_1$ 、残り半数の供給を $y_2$ とすると、それぞれの供給は以下の供給関数で表される。

$$y_1(p) = 0.4p - 60, y_2(p) = 0.2p - 30$$

このとき、① $x_1$ の消費者の合計需要量、② $x_2$ の消費者の合計需要量、③市場の需要関数 $D(p)$ 、④ $y_1$ の生産者の合計供給量、⑤ $y_2$ の生産者の合計供給量、⑥市場の供給関数 $S(p)$ 、⑦均衡価格、⑧均衡数量をそれぞれ求めよ。

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③  $D(p) =$  \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_  
 ⑤ \_\_\_\_\_ ⑥  $S(p) =$  \_\_\_\_\_ ⑦ \_\_\_\_\_ ⑧ \_\_\_\_\_

問題 3



左図に描かれているのは、ある市場の課税前の需要曲線と供給曲線であり、 $p^*$ と $q^*$ はそれぞれ課税前の均衡価格と数量である。買い手に対して一定の従量税が課された結果、数量は $q'$ に減少したとする。課税前の①消費者余剰と②生産者余剰、課税後の③消費者余剰と④生産者余剰、⑤税収、⑥死荷重が図のAからFのどこに該当するか、それぞれ答えよ。記号は複数選択可能である。

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_  
 ④ \_\_\_\_\_ ⑤ \_\_\_\_\_ ⑥ \_\_\_\_\_

問題 1

1.  $\frac{2}{3}$  または 0.7    2. 3

問題 2

- ①  $-40p+10000$     ②  $-20p+5000$     ③  $D(p) =$   $-60p+15000$     ④  $40p-6000$   
⑤  $20p-3000$     ⑥  $S(p) =$   $60p-9000$     ⑦ 200    ⑧ 3000

問題 3

- ① ABF    ② CDE    ③ A    ④ D    ⑤ BC    ⑥ EF